

山を守る大切さ 北方学園フィールドワーク

10月18日、北方学園の中学2年生20人が、工藤謙一さん(上永の内)が所有・管理する「メアサ100年の森」を訪れました。

国土交通省延岡河川国道事務所が、治水につながる整備や取り組みなどを学ぶためのフィールドワークを計画。今回は、五ヶ瀬川上流域編として、工藤さんが手入れをする山に入り、樹齢102年になるメアサ杉の前に、木々や草花、森林整備の重要性などについて話しました。



八紘を掩ひて宇とせむ 高天原・四皇子峯祭

10月13日、高天原・四皇子峯祭の式典が、四皇子峯社で開催され、神事と神楽の奉納が行われました。

高天原は、くしふるの峰に降りたつた瓊瓊杵命らが、遠く高天原を遥拝した地として、また、四皇子峯は、この地でお生まれになった神武天皇とその兄弟である彦五瀬命、稲飯命、三毛入野命が祀られており、日本の神話や高千穂の神話史跡としても大切な場所となっています。



集落の活性化を支援 山村リフレッシュ支援事業

10月7日、一般社団法人宮崎県治山林道協会(佐藤貢会長)が実施する「山村集落リフレッシュ支援事業」に、立宿公民館(佐藤昭彦館長)が選ばれ、交付金の贈呈が行われました。

本事業は、山村地域の有する県土の保全や自然環境の保全等の役割を果たす集落の活性化への取り組みに対し支援。立宿地区では、安全で気兼ねなく利用できるように手すり等の設置や備品購入を予定しています。



高千穂地区本部が2連覇 宮崎県畜産共進会で団体優勝

10月4日、第65回宮崎県畜産共進会(肉用種牛の部)が、新富町で開催され、高千穂地区本部が団体優勝となり、2連覇を達成しました。

第1類に出品した興和友成さん(上野)が優等2席。藤原和昭さん(三田井)が吉等賞。

第2類に出品した林秋廣さん(田原)が優等2席。佐藤泰さん(上野)が吉等賞。

第3類に出品した戸高清次さん(上野)らが優等首席。



好評につき第2弾 世界農業遺産を活用した新製品誕生

10月21日、一般社団法人ツーリズム高千穂郷(代表理事藤本昭人副町長)が、世界農業遺産高千穂郷椎葉山地域活性化協議会と連携して開発・販売した商品「抹茶のテリーヌ」と「緑茶のガナッシュ」の第2弾として、「ハト麦ほうじ茶」、「柚子ケイク」、「柚子マドレーヌ」、「かげポン」、「マッシュフル」の5種類を新たに商品化しました。

商品は、インターネットや道の駅などで販売をしています。



祭りと完成を祝う 榎觸神社秋季大祭

10月14日、榎觸神社(後藤俊彦宮司)で、秋季大祭が行われました。

あいにくの雨により、御神幸や幼児うなり相撲などが中止となり、神事のみとなりました。

後藤宮司は、天孫降臨の神話になぞらえ先日、天眞名井周辺整備が終わった。この雨は完成しためでたい雨として、神様が恵みの雨を降らしたのではないかと考えることが順当ではないか」とあいさつしました。



郷土を愛し豊かな心を育む みどりの文庫を寄贈

10月7日、一般社団法人宮崎県治山林道協会(佐藤貢会長)から、田原小学校(篠原光教校長)に「みどりの文庫」が寄贈されました。

県内の小中学校を対象に、森林・環境に関する図書等を贈呈することで、児童・生徒が読書を通じて自然の大切さを認識し、郷土を愛する豊かな心を育んでもらおうと毎年実施。田原小学校では、書架や書籍の購入など図書室の整備を予定しています。



2期連続545日間を達成 交通死亡事故ゼロ市町村表彰

10月7日、本町の交通死亡事故ゼロの期間が545日を達成し、宮崎県交通安全対策推進本部(河野俊嗣県知事)から表彰されました。

最終の交通死亡事故の翌日から、市町村の人口に応じた基準日数(本町は545日)までが対象期間となっており、本町は令和5年3月28日から本年9月23日までの期間で達成。平成12年以降、通算8回目、前回に続き2期連続での受賞となりました。

